

トレーラー ハウス事業部に クローズアップ！

2024年に発足したばかりのトレーラーハウス事業部をご紹介！高橋さんの見立てでは、近い将来全国的に隆盛する事業へ成長することのことも。もし実現すれば、「住まいの概念」が一新するかもしれません。取材の最後には、高橋さんの信託ホーム社員としての魂のメッセージも。トレーラーハウス事業の真髓と併せてご注目ください！

トレーラーハウス事業部発足の背景

トレーラーハウスが有する数々の利点に、 将来の中心事業となる可能性を見出す

住宅産業としての事業の幅を増やすために、「トレーラーハウスが新たな住宅事業になり得るのでは？」と着目したのがきっかけです。トレーラーハウス最大の特徴は、非常に汎用性に優れている点。新しい形の住居として販売へと踏み出しました。

発足したのは2024年5月頃。約半年かけてパーツの仕入れや工場の整備を行い、12月半ばから本格的な製造工程に入っています。メンバーはまだ会長と私の2名だけですが、鋭意活動中です。



トレーラーハウス事業部
代表

たかはし ゆきお

高橋 幸男さん

事業概要

事業コンセプト

建物ではなく、「車両」としてみなされる
トレーラーハウスの利便性を活用！

電気や水道などが繋がっていれば、行政手続きなしで必要な場所へどこへでも持っていきます。トレーラーハウスを製造し、「ほしい！」というお客様のところへお届けする。この一連の流れが、本事業の根幹です。

メリット

生活インフラさえあれば、
「建築」に係る行政手続きが不要！

トレーラーハウスの汎用性

建築分野と異なるニーズに対応できる

グランピングや別荘の代替

本来建物が建てられない「調整区域」にも配置が可能となるため、選択肢が激増します。

ホテル事業

ホテルの慢性的な客室不足の解消を実現。無人営業が可能で、J Rの高架下に配置しているケースも！

災害復興支援

言うなれば「ローコストな移動できる仮設住宅」。特殊車両扱いになるため、被災者が寝泊まりできる場所としても活用できます。

幅広い年齢層にマッチ

ターゲット層はかなり広く、グランピングや別荘に興味がある30~40代、リタイア組の60代以降、その他ホテル運営事業者など、幅広い層が見込まれます。

トレーラーハウス事業に活かせる信託ホームの強み

地域特有の要望に応えるためのバックグラウンド

事業の概要だけ聞くと、「車両を組んで販売するだけ」と感じてしまうかもしれません。しかし、お客様に求められるトレーラーハウスを作るためには、当社46年の建築ノウハウが必須です。例えば、ハウス内の換気問題。解消するためには正しい設計思想と細かい図面が必要不可欠であり、誰にでもできるものではないでしょう。また、車内温度問題への対処も欠かせません。全国へ向

けて販売する以上、「地域性に合わせたトレーラーハウス」を用意する必要があります。例えば、北海道では「暖気の維持」がマストですが、沖縄では「涼気の確保」が重要視されるはず。つまり、断熱や遮熱の発想を地域特性によって柔軟に変えることが求められるわけです。一見建築とは無縁に見えますが、当社の経験が役立つシーンが数多く訪れるでしょう。

他事業部の皆さんへメッセージ

事業規模を維持した開発部に追いつきたい！

私は今、新しい事業の確立に尽力していますが、20年前に建築部で私1人だけで活動していた当時を思い出します。そこから長い年月をかけ、建築部を事業として築き上げていくことに。今は不動産開発部と名称を変えましたが、ぜひとも開発部の環境を守り続けていただきたいという思いです。建築部として積み上げてきたノウハウ、そして携わってくれる数々の協力業者様。それらすべてが、当社にとっての財産であることは間違いありません。このトレーラーハウス事業を成長させ、開発部と肩を並べるのが私の目標であり願いです。フィールドは異なりますが、お互いに頑張りましょう！

今後の展望

生産体制を固め、販売に注力できる環境を整える

製作カテゴリーを増やし、価格をお客様の手が届く範囲に収め、加速度的に全国へ販売していきたいと考えています。そのためには販売ルートの確立に加え、制作時間の短縮もカギ。現時点での理想は、1か月に10台の製造スパン。ハードルは極めて高いですが、低価格化を実現することによって他社との差別化を図り、いち早く軌道に乗せてまいります。





先輩たちが解決します！



若手の悩み相談室

～ちびっこランド福住園編～



相談者

よねき りさ
米木 理彩さん



回答者

ふじさき じゅんな
藤崎 絢那さん



Q1 仕事をする上で、常に心がけていることは何ですか？私は、日々心の中で「この声かけで良かったのかな」「間違っていたのかな」と一人反省会をしてしまいます。自分の中に一つでも心がけていることや決めていることがあると良いのかな、と考えているため参考にさせていただきたく思います。

A1 あえて子どもと同じ精神年齢になって遊ぶこと！

これは私がずっと心がけていることです。そうすることで遊びの幅もぐんと広がりますし、子どもの意図や思いにもだんだん気がつけるようになってきました。そして日々反省することは素晴らしいことです！誰にだって当然失敗はあります。先輩だからって何でもできるわけではないのです。失敗しても、反省することで成長に繋がるはず。いつまでもその気持ちを忘れずに、頑張ってください！

Q2 子どもたちのお昼寝中、私も眠くなってウトウトしてしまいます……。そうしたときの目の覚まし方について教えてください！先輩方は、皆さんどのように対処しているのでしょうか？

A2 まずは夜間の睡眠をしっかり取ることが大事！

また、本当に寝てしまうのはあまり良くありませんが、こちらが眠たそうにしていると、心なしか子どもたちも早く眠りについてくれる気がします。その面では良い部分もあるのかもしれませんが。どうしても眠たくて仕方がない！というときは、私が全力で起こしにいきます！

Q3 最近「ちびっこランド」のInstagramに力を入れています！「こんなときどうしている？」などのアンケートをInstagramで更新すると、いろいろな人の意見を聞くことができ良いのではないのでしょうか？

A3 やりたいことは、何でもやってみましょう

どんどん新しいことに挑戦していて、素晴らしいと思います！手伝えることがあれば、いつでも相談してください。

若手の先生にとって、日々の保育は試行錯誤の連続でしょう。迷える若手に手を差し伸べるべく、経験豊富な先輩たちが様々な疑問や悩みについてズバリお答えします！自身の対応に不安を抱えている人、頭を悩ませている人は必見です。

相談者

まえだ はるか
前田 春華さん



回答者

つるおか まなみ
鶴岡 麻奈未さん



Q1 連絡帳に書く内容や文章構成に悩んでいます。保護者の方が思わず「読みたい!」と感じるような書き方を教えてください!

A1 具体的なセリフを入れたり、家庭では見られない姿を伝えてみましょう

ほんの一瞬のことで、子どもたちの会話の具体的な内容や大人を笑わせてくれた瞬間はできるだけ忘れないようにしておき、連絡帳に書くようにしています。カギ括弧にセリフを入れて書くと、読んでいても楽しめるのではないのでしょうか。また「可愛い!」と感じたことを、「このようなことがあって、とっても可愛かったです」と伝えると、保護者の皆さんも喜んでくださると思います。さらに園での小さな成長を見逃さず伝えることも大事。家庭では見られないような姿については、できるだけ具体的に記入するようにしています。

Q2 制作や日々の遊びでの声かけについて、何をを使って学び、活用されていますか?心がけていることについても教えてください!

A2 声かけで気をつけているのは「わかりやすく表現すること」「子どもたちを一人の人間として尊重して話すこと」。

そう思っているにもかかわらず……脳をフル回転しながら、伝わりやすい言い回しを試行錯誤する毎日です。

制作に関しては、「子どもたちの思考や行動を具体的に想像し、起こりそうな事態の予測を立てること」。

先輩からそのようなアドバイスしてもらい、それ以降実践するようにしています。学習リソースについては、私の場合Instagramを活用。気になる保育アカウントを確認し、紹介されている本を読んだり、考え方で賛同できるものはスクリーンショットで保存をし、時折見返したりしています。

Q3 当園は実施していますが、学習発表会を開催してみるのはどうかと考えています。

A3 まずは普段の生活から活動の場を広げていくのはいかがでしょうか

発表を誰かに見てもらう喜びや、練習の末できるようになった!という経験は、とても貴重なものだと思います。まずは普段の生活の中に、楽しく遊びながら「これを皆に見てほしい!」と思える活動を取り入れ、その内容を他のクラスに見てもらうことから始めてはいかがでしょうか。当園らしい発表会を、少しずつ皆で作っていかれたらと思います!